

日刊 動労千葉

87. 2. 21

No. 2483

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二二七二〇七

28名の解雇者を先頭に 4月以降もたたがいぬく

各支部代表が断固たる決意を表明

戦争国家体制づくりをやるために、この間、国鉄分割・民営化攻撃として闘う労働組合をつぶそうとやってきた。われわれは、中曽根の野望を許さず、この二、三月、四月一日以降を展望して団結を固めていかなければならない。

新小岩支部・関支部長



館山支部・笹生支部長

この二、三月、精一杯の力をふりしぼり、団結をさらに強固にして四月に向け闘うことを決意する。



いよいよ選別がはじまろうとしているが、われわれは勝利したと宣言したい。しかし、勝利はなかばだ。二八名の解雇者を守って四月一日以降も日本労働運動の大道を歩んでいく。東日本・貨物たとへ駅に行こうともわれわれの心も組織もひとつであるということを確認し、最後の勝利をもぎとるために闘う。

幕張支部・滝口支部長



木更津支部・斉藤支部長

敵しい情勢の下で差別・選別がやられようとしている。われわれの進むべき道は動労総連合、国労共闘に結集する闘う労働者の連帯を追求し、あくまで闘いぬく道しかないことは鮮明である。木更津支部は最後まで闘いぬく。



昨年、廃止攻撃を受けたが解雇者六名を含め、十二名の組合員で頑張っていく。

成田支部・高柴副支部長



佐倉支部・田中書記長

この一年間の闘いの地平に踏まえ、四月一日以降も動労千葉の旗を守りつつ、組合員の先頭で闘う。



いよいよ差別・選別の正念場をむかえ、二波の闘いを通して分割・民営化の労組破壊攻撃に勝利した。それは、組合員がどんな差別攻撃に屈せずにも闘いぬいた団結の力があつたからだ。四月一日以降、もつとすさまじい攻撃がくるだろうが、この間に培った力を出しきって闘うことによつて勝利は間違いない。そのカギは団結だ。二八名の解雇者を先頭に四月一日以降断固として闘いぬく。

千葉運転区支部・永田支部長



銚子支部・西本支部長

この一年間、血のにじむような闘いをやつてきた。いま、選別の結果がだされようとしている。こんなものに負けるわけにはいかない。一人たりとも選別を許してはならない。四月以降も動労千葉銚子支部として断固闘いぬく。



昨年一年間、本当に血みどろになつて闘ってきた。その成果が、これから確認できる時がきたのだ。われわれは絶対に仲間を裏切らず、そして、一人の首切りも許さず闘いぬく。

勝浦支部・鶴岡支部長



津田沼支部・綾部支部長

首切りを恐れず闘いぬくことによつて敵の側にさらに矛盾と危機を深化させてきた。われわれの仲間を一人でも清算事業団にもつていこうものなら二月十六日を国鉄労働者の新たな闘いの日と位置づけ闘いを開始する。



当面おスケジュール

- 2/22 三里塚現地集会
- 24 「清算法人通告者」激励会
- 25 サークル協才四回駅伝大会
- 26 中江昌夫を励ます会
- 28 2・28全国鉄労働者集会